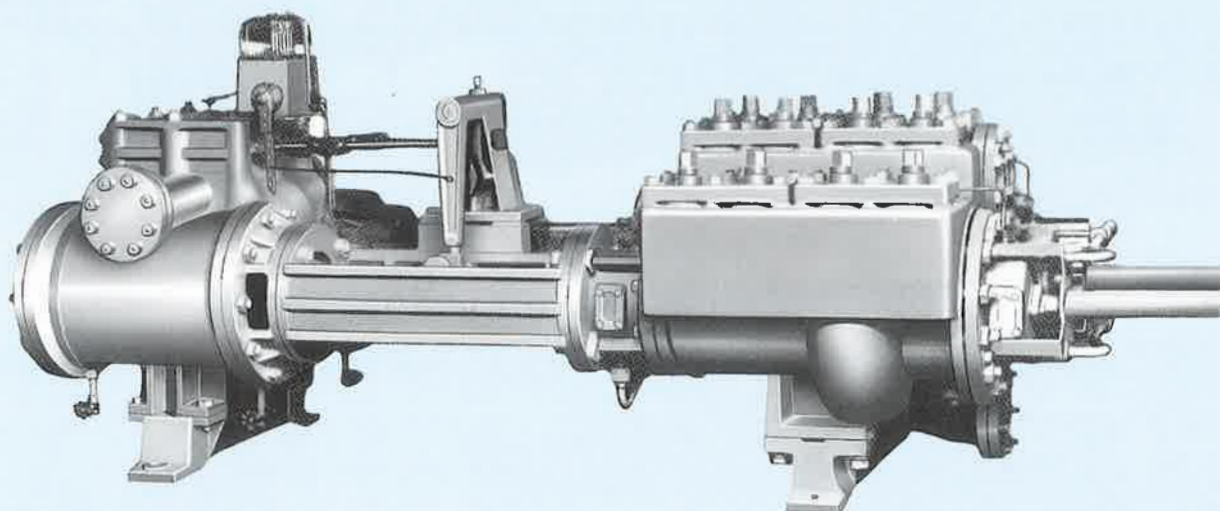


# マルシチスチームピストンポンプ

マルシチスチームピストンポンプは一般給、排水、汽缶給水、石油精製、各種化学装置用ポンプとして広く採用せられて居ります。運転が容易で信頼度が高く、且つ圧力、送水(液)量の調節が容易に出来ます。ポンプ型式は液体の温度、化学的、物理的性質、吐出圧力、吸入真空度等により決定致します。

主要材料は通常鋳鉄、青銅、炭素鋼等を用い特殊な液体には不銹鋼、特殊鋼、高圧高温にては鋳鋼を使用致します。又、本カタログに記載して無い仕様のポンプにても御要求により設計製作を致します。



## MARUSHICHI STEAM PISTON PUMPS

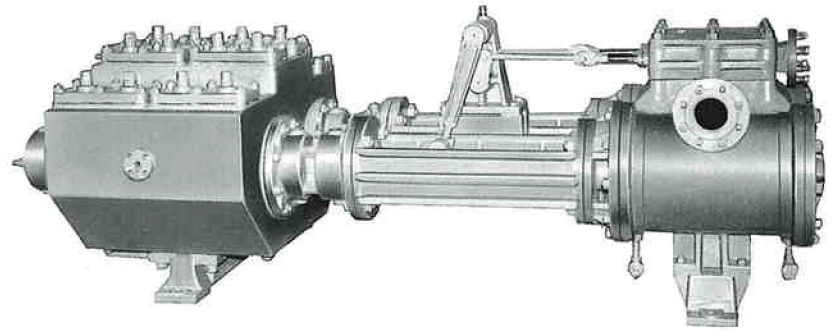


株式会社 マルシチ



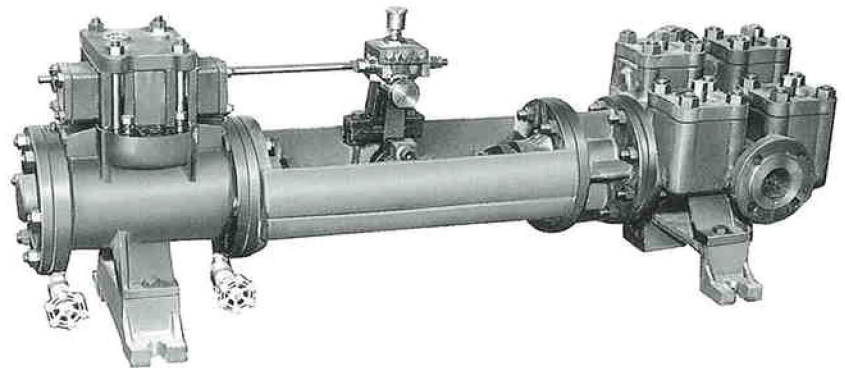
# DW—OJ型

常温にて凝固する様な高粘度の液を取扱う場合には、シリンダーをスチームジャケットにて保温します。



# SW—O型

本機は作動軽快であって、行程数毎分4～5程度の低速より高速に至るまでスムーズに運転します。送油量の調節は広く容易に出来ます。真空引出用に適して居ります。



## SW単筒型 (汽動往復ピストンポンプ) 標準仕様

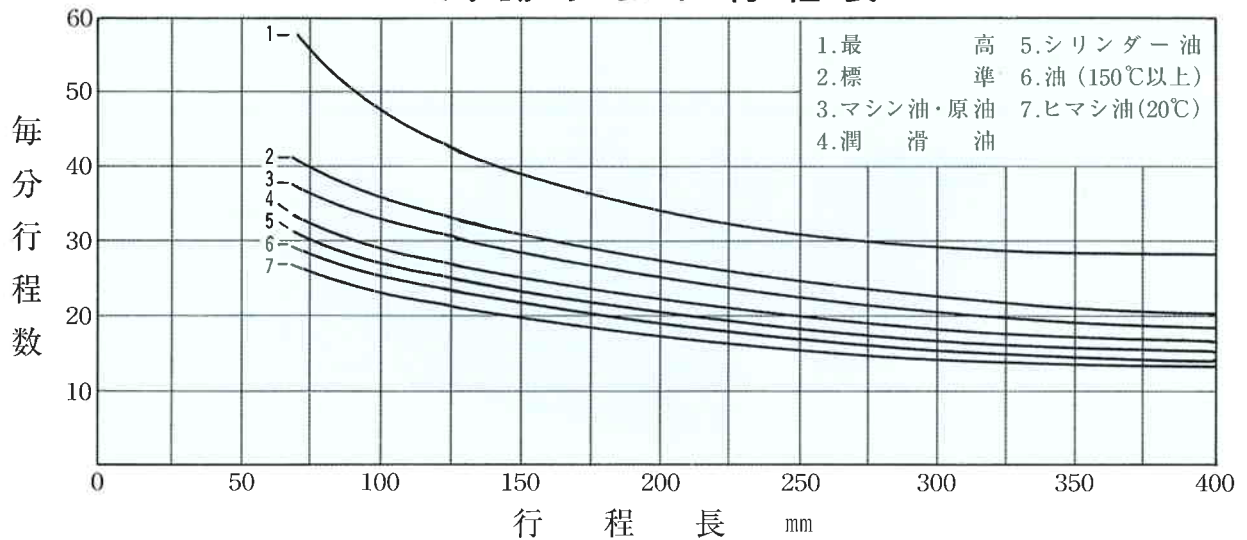
機名		5×3×6	6×4×8	6×4×12	8×6×10	8×6×12	10×6×10	10×8×14	14×10×18	16×12×18
仕様										
汽筒径	mm	125	150	150	200	200	250	250	350	400
液筒径	mm	75	100	100	150	150	150	200	250	300
行程長	mm	150	200	300	250	300	250	350	450	450
標準使用行程数範囲	r/m	(26) 16-32	(22) 14-28	(18) 10-22	(20) 12-24	(18) 10-22	(18) 10-22	(16) 8-20	(12) 7-16	(12) 7-16
ピストン速度	m/min	(2.8) 5.1-9.6	(8.8) 5.6-11.2	(10.8) 6.0-13.2	(10.0) 6.0-12.0	(10.8) 6.0-13.2	(9.0) 5.0-11.0	(11.2) 5.6-14.0	(10.8) 6.3-14.4	(10.8) 6.3-14.4
ピストンロッド径	mm	25	35	35	38	38	38	40	50	65
吐出量	ℓ/min	16.4~34.4	34.7~72.2	37.2~87	88~184.5	88~205	73.5~168.5	151~395	272~660	391~943
伝達効率	%	57	64	68	70	70	72	74	78	78
蒸気圧力範囲	kg/cm <sup>2</sup>	2-8	2-10	2-10	2.5-12	2.5-12	3.0-15	3.0-15	3.5-15	3.5-15
口径	蒸気mm × 方向	20×TOP	20×TOP	25×SIDE	40×SIDE	40×SIDE	50×SIDE	50×SIDE	50×SIDE	80×SIDE
	排気mm × 方向	25×TOP	25×TOP	40×SIDE	50×SIDE	50×SIDE	65×SIDE	65×SIDE	80×SIDE	100×SIDE
	吸込mm × 方向	50×SIDE	50×SIDE	50×SIDE	80×SIDE	100×SIDE	80×SIDE	100×SIDE	150×SIDE	150×SIDE
	吐出mm × 方向	40×SIDE	40×SIDE	40×SIDE	50×SIDE	80×SIDE	50×SIDE	80×SIDE	100×SIDE	100×SIDE
フランジ径	液筒側 内径×ロッド径×深さ	45×25×80	61×35×115	61×35×115	64×38×140	64×38×140	64×38×140	66×40×140	82×50×170	97×65×190
	汽筒側 内径×ロッド径×深さ	45×25×55	61×35×80	61×35×80	64×38×90	64×38×90	64×38×90	66×40×90	82×50×110	97×65×130
	スチームチェスト 内径×ロッド径×深さ	20×12×25	20×12×25	20×12×25	30×20×36	30×20×36	30×20×36	30×20×36	40×22×45	40×22×45



# バルブ

1. 円錐弁 / この弁は弁座との接触面が円錐型で最も確実に作動します。高压用には必ず此のバルブが使用されます。又粘度の比較的高いものに適しております。弁及び弁座の形状は使用液の条件に最も適する様に選定致します。
2. 球 弁 / この弁は何れの方に座するも弁口を閉鎖する特長があつて、高粘度及びスラリーを含む、液体には最も適して居ります。

汽 動 ポ ンプ 行 程 表



容量効率 ( $\eta_v$ ) 及 伝達効率 ( $\eta_t$ )

